

## 佐賀県におけるインフルエンザの流行 (2017/18シーズン)

2018年3月31日時点の中間報告

ウイルス課 諸石早苗 松延富与子 堤陽子 島あかり 安藤克幸

佐賀県感染症発生動向調査事業におけるインフルエンザの発生状況調査 (2017/18 シーズン) 中間報告および集団発生状況調査の概要は以下のとおりでした。

### ウイルス検出・分離

2017年9月から2018年3月まで、県内定点医療機関(インフルエンザ・小児科・基幹病原体定点)におけるインフルエンザ様疾患患者(以下、散発事例)141名の鼻・咽頭ぬぐい液と県内の保健福祉事務所管内におけるインフルエンザ集団発生事例(以下、集団事例)4事例12名の鼻咽頭ぬぐい液など、計153検体について、インフルエンザウイルスの検出・分離を行いました。

### ウイルス分離

インフルエンザウイルス分離には MDCK 細胞を用い、分離株の同定は国立感染症研究所から分与された診断用試薬キットとモルモット赤血球およびニワトリ赤血球を用いた HI 試験により行いました。

### ウイルス遺伝子検出法 (RT-PCR 法等)

- ・鼻咽頭ぬぐい液からのインフルエンザ RNA 抽出法は、濃縮キットを使用しました。
- ・うがい液からのインフルエンザ RNA 抽出法は、10ml を Amicon Ultra-15 で濃縮し容量を 0.5ml 以下にした後、キットを使用して抽出しました。
- ・インフルエンザウイルスの検出は、国立感染症研究所の病原体検出マニュアルに従ってリアルタイム PCR 法およびコンベンショナル RT-PCR 法を実施しました。

### 結果

#### 1) インフルエンザ患者の発生状況

##### 散発事例

佐賀県感染症情報センターによる2017/18シーズンのインフルエンザ患者報告数は図1のとおり、ピークの時期は1月中旬でした。

##### 集団事例

佐賀県インフルエンザ学級等閉鎖情報による2017/18シーズンの集団発生は、表1のとおりでした。

[事例・資料]

図1 2017/18シーズンにおけるインフルエンザ患者発生状況

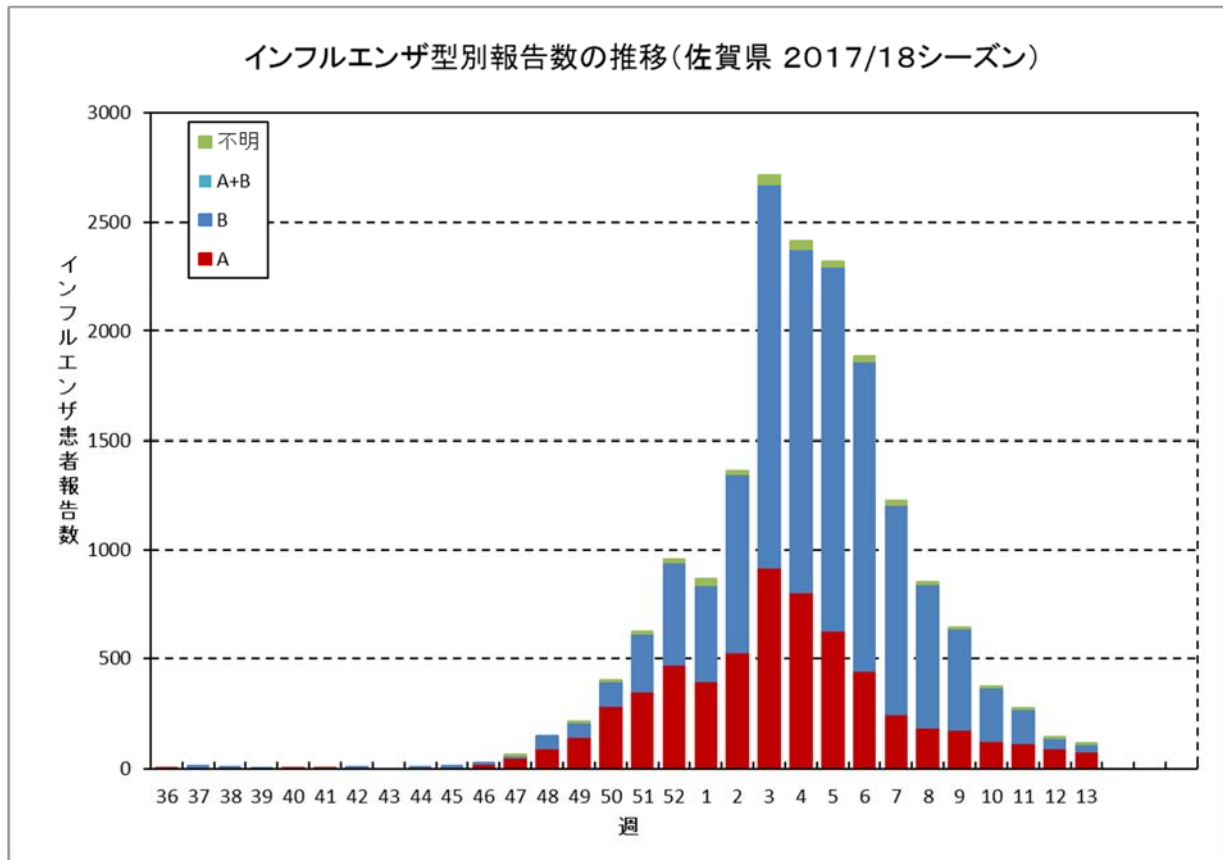


表1 インフルエンザ集団発生施設別発生状況

施設	臨時休業数	患者数	措置		
			休校	学年閉鎖	学級閉鎖
幼稚園・保育園	34	387	4	5	25
小学校	299	2865	3	76	220
中学校	85	896	0	12	73
高等学校	56	570	0	5	51
短期・大学、他	4	13	0	1	3
計	478	4731	7	99	372

[事例・資料]

2) ウイルス検出状況

散発事例における検出状況(表2)

表2 2017/18シーズンにおけるインフルエンザウイルス検出状況

		2017年 9月				10月				11月				
週		36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
報告数		5	9	4	1	1	2	4	0	5	8	26	60	149
定点当たり患者発生数(人/定点)		0.13	0.23	0.10	0.03	0.03	0.05	0.10	0.00	0.13	0.21	0.67	1.54	3.82
検出数計														
内 訳	AH1pdm09											1	10	7
	AH3亜型		4					1						
	B型(ビクトリア系統)													
	B型(山形系統)									1				3

12月		2018年 1月				2月				3月						
49	50	51	52	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
213	403	622	958	863	1364	2716	2417	2321	1882	1225	850	642	371	272	142	113
5.46	10.33	15.95	24.56	22.13	34.97	69.64	61.97	59.51	48.26	31.41	21.79	16.46	9.51	6.97	3.64	2.90
5	8	3	2	2	3	3			1	1		1				
	2	1			5	3	3	4	1	4	2	4	1	1	1	4
5	1	4	5	1	3	4	4	7	8	4	4	3	3	2	2	

集団事例におけるウイルス検出状況(表3)

表3 2017/18シーズンインフルエンザ集団発生事例におけるウイルス検出状況

事例番号	管轄保健 福祉事務所	発生地、施設名	検出・分離数	検体数	型
1	2017.9.13	佐賀中部 佐賀市、高等学校	3	3	AH3亜型
2	2017.11.20	伊万里 伊万里市、小学校	3	3	AH1pdm型
3	2017.11.29	鳥栖 鳥栖市、小学校	3	3	AH1pdm型
4	2017.12.5	伊万里 鹿島市、中学校	3	3	B型(山形系統)
			12	12	100.0%

[事例・資料]

### 考察

2017/18 シーズンにおけるインフルエンザの流行は、2016/17 シーズンよりも立ち上がり早く、1 月中旬をピークとする流行パターンでした。今後ともインフルエンザウイルスの大流行と各亜型による変異株の出現に備え、ウイルス病原体の迅速な検出と分離および遺伝子的な解析を継続的に実施していくことが重要であると考えています。